

# 平成20年度 決算概要

## 一般会計

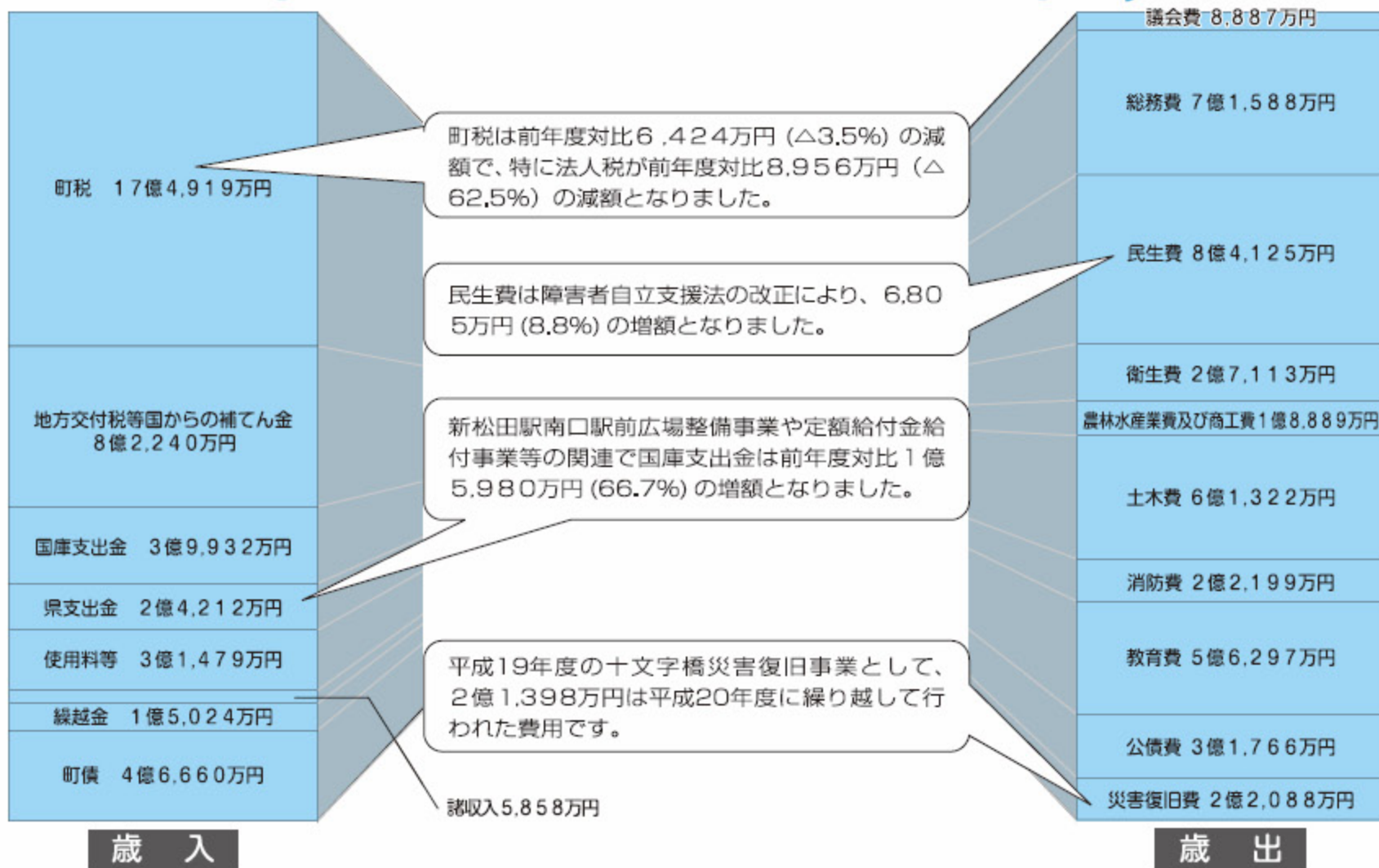
平成20年度の松田町歳入歳出決算について、町議会定例会で認定されましたのでその概要をお知らせします。

一般会計の歳入総額は42億324万円、歳出総額は40億4,274万円で、歳入は前年度対比で10.6%、歳出は10.7%とともに前年度を上回る結果となりました。

また、平成20年度当初予算額（38億8千万円）と比較しますと、歳入は8.3%、歳出は4.2%の増額となっています。これは、平成20年度に国による定額給付金などの経済対策事業が増えたことが主な原因となっています。

歳入総額 **42億324万円**

歳出総額 **40億4,274万円**



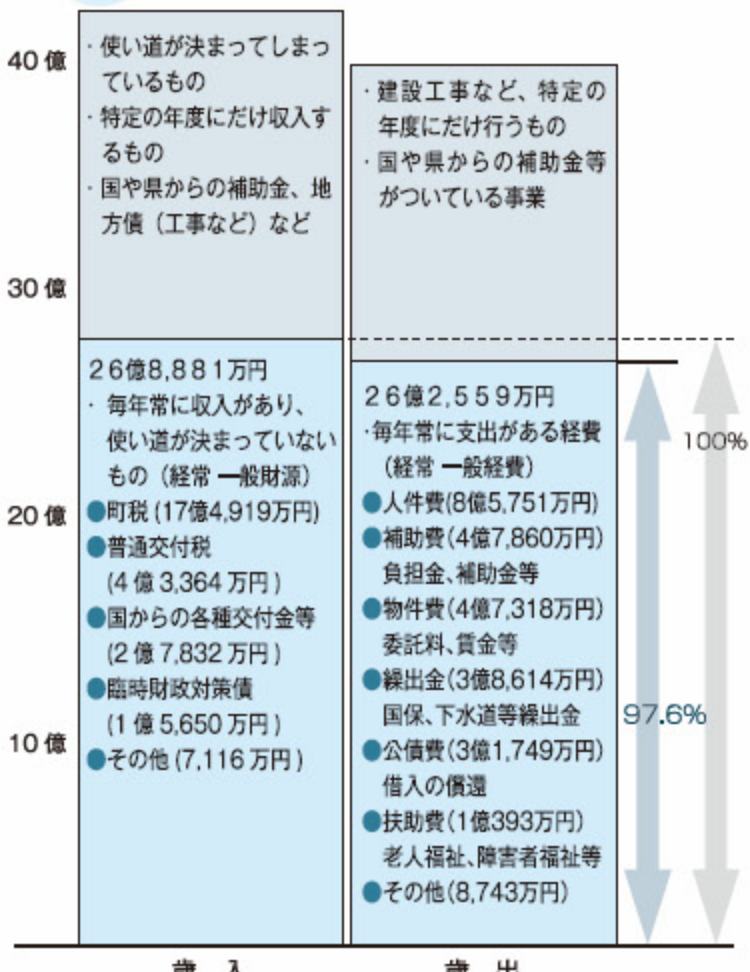
町税は前年度対比6,424万円(△3.5%)の減額で、特に法人税が前年度対比8,956万円(△62.5%)の減額となりました。

民生費は障害者自立支援法の改正により、6,805万円(8.8%)の増額となりました。

新松田駅南口駅前広場整備事業や定額給付金給付事業等の関連で国庫支出金は前年度対比1億5,980万円(66.7%)の増額となりました。

平成19年度の十文字橋災害復旧事業として、2億1,398万円は平成20年度に繰り越して行われた費用です。

### 普通会計 一般会計及び用地取得特別会計



### 町財政の弾力性

経済収支比率は財政の弾力性をみるもので、簡単に言えば毎年常に支出しているものの収入に対する割合です。この数値が大きくなると自由に使える予算が少なくなるということになります。

年度間や他団体との比較ができるように、施設建設や災害復旧事業など毎年決まって支出するものでないものや、収入では使い道が決まっただけで自由に使えるものについては除くことになっています。

支出は、行政改革や事業の見直しにより削減を図りました。人件費に関しては人員削減や手当等削減により前年度対比11%減、その他事務費などは減っていますが、年々増える続ける福祉関係の支出、過去に借りたお金の返済、国民健康保険や下水道事業を安定して運営するための支出については増加しています。収入は、景気悪化の影響で、町税や国からの交付金等が減っています。特に法人所得の影響が大きくなっており、これが、数値を上げる主な要因となっています。

